

ノロウイルス情報 第1号

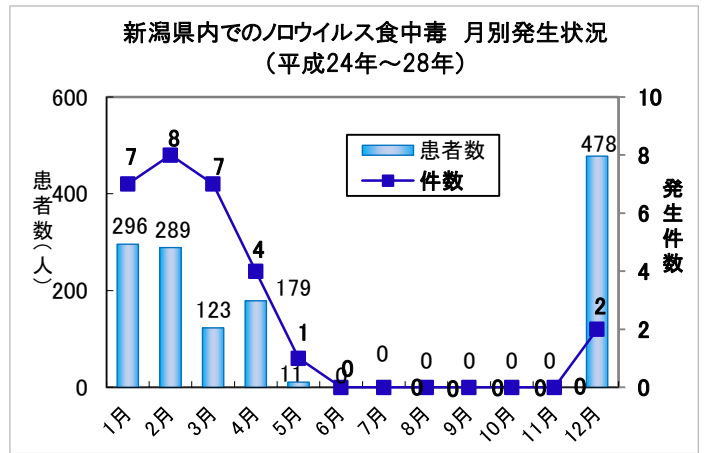
冬から春にかけて、ノロウイルスによる感染症や食中毒が多発します。

新潟県では、本日から3月までの間、隔週で県内の感染性胃腸炎の発生状況や食中毒予防のポイントをお知らせします。

ノロウイルスの特徴

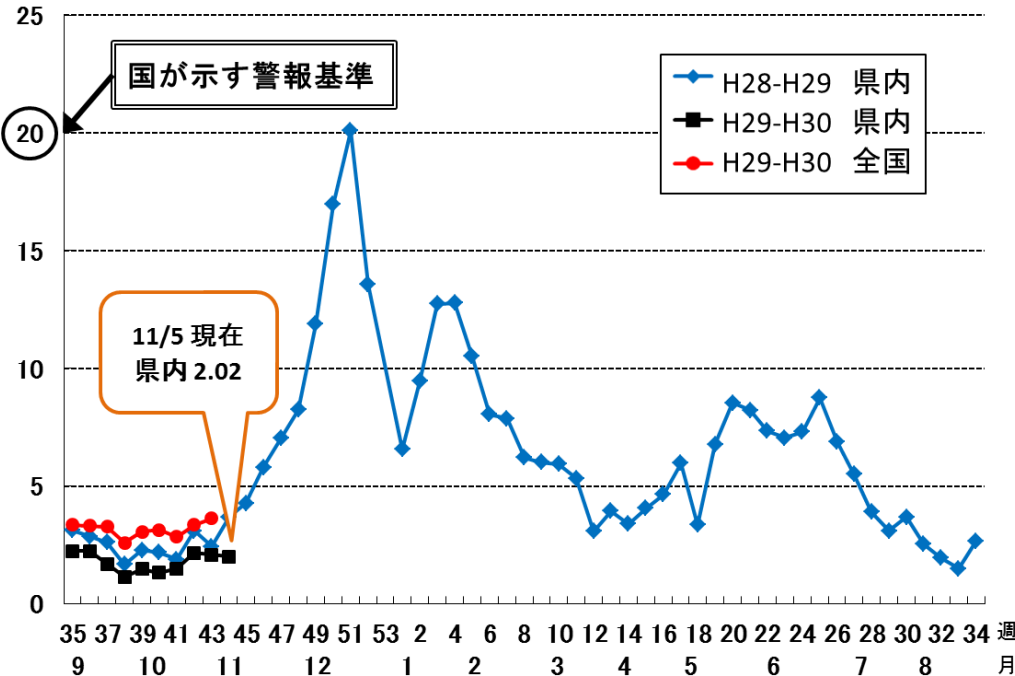
- ノロウイルスは、ヒトに感染するとおう吐や下痢、腹痛などの胃腸炎症状を起こします。
- 手指や食品を介して口から入り、約1～2日後に胃腸炎症状を起こします。
- 症状が治まっても、1週間～1か月間程度、ウイルスが便とともに排泄されます。

★ 感染者のおう吐物や便にはノロウイルスが大量に含まれ、手指等を介して感染が広がります。手洗いや消毒を徹底して感染を予防しましょう！



感染性胃腸炎定点当たりの報告数※(感染症サーベイランス)

※報告対象医療機関当たりの感染性胃腸炎(ノロウイルス以外も含む)の患者数



次号は、平成29年11月27日頃に発行予定です。

<H29.10.30～11.5>

保健所ごとの報告数(定点当たり)

新潟市	2.71
新発田	5.00
新津	-
三条	0.40
長岡	0.38
魚沼	4.00
南魚沼	0.50
十日町	-
柏崎	1.67
糸魚川	1.50
村上	-
佐渡	-
上越	4.33



詳しい予防のポイントは、新潟県ホームページ内「にいがた食の安全インフォメーション」をご覧ください。
ネットで「にいがた食の安全」と検索(<http://www.fureaikan.net/syokuinfo/>)し、最新情報の「ノロウイルス情報を掲載しました」からご覧いただけます。

